

2022北海道レフェリーアカデミー第6回(通算16回) 事業報告

報告: 山口 麗弥(札幌)

【日 時】 2022年10月8日(土)、9日(日)

【場 所】 函館フットボールパーク

【参加者】 審 判 員: 一瀬哲平、濱岡優太、山口麗弥

インストラクター: 古曾部統太郎氏(RAM)、今川一輔氏、平石暁史氏(RAI)

オブザーバー: 山下浩司氏(函館地区審判委員長)、高橋海星氏(北海道 RAC2期生)

【研修内容】

テーマ: 「ゲームコントロールのために、主審の自分ができること」

10月8日(土)

08:30 集合 @函館フットボールパーク

10:00 試合実践① 2022年度第20回 北海道サッカーリーグ ブロック決勝大会

日本通運 FC(札幌) - 旭蹴会(道央・道北) 主審: 山口 担当 INS: 平石 INS

〈自己分析〉

試合前からひとつひとつマネージメントをしっかりとやっというと考えて試合に臨んだ。スローインの再開位置で不満を持っている選手など、都度対応することで、この試合はなんとか納められたのかと思う。

〈INS 分析〉

マネージメントについては、最初の5分のスローインのコントロールの機会を逃したことが残念でした。それ以外のFKやゴールキック、コーナーキックなどの場面でも、スムーズな試合の展開を助けていたマネージメントでした。22分の旭蹴27番のファウル後に注意を与えた場面もよかったです。

13:00 試合実践② 2022年度第20回 北海道サッカーリーグ ブロック決勝大会

函館市役所(道南) - クラップス(道東) 主審: 一瀬 副審1: 濱岡 担当 INS: 今川 INS

〈自己分析〉

自分自身がシーズンで一番大切にしていた動き出しがスムーズにできたことが良かった点である。カウンターだけではなく、ビルドアップや中盤の展開の中でスムーズに動き出しができる際には、ターンもうまくいっていることがわかった。日頃のトレーニングでも、ターンにアプローチをしていきたい。また、この試合では幅のあるポジションに位置することができたことで、判定の精度を高められた。こうした良い動きを1試合通して継続していきたい。

〈INS 分析〉

3分のDOGSOシーンの動き出しとスプリントは「素晴らしい」の一言です。また17分、30分、32分、57分の動き出しも評価に値する事象でした。しかしながら後半のポジショニングは少し修正が必要です。75分主審にボールが当たる場面は、やはり基本に戻りA2サイドまで幅を持たせたポジショニングが必要です。

15:30 試合振り返り

17:10 諸連絡・解散

10月9日(日)

08:30 集合 @函館フットボールパーク

10:00 試合実践③ 2022 年度第 20 回 北海道サッカーリーグ ブロック決勝大会

旭蹴会(道央・道北) - 函館市役所(道南) 主審:山口 担当 INS:今川 INS

〈自己分析〉

警告を2枚提示したが、映像で確認しても納得のいくものだったと思う。

1枚目の警告の前に、函館の選手の腕にボールが当たったシーンの判定は、試合中は、先に体に当たって腕に当たったため、自打球だと判定したが映像からはわからなかった。どちらにせよ、もっと角度をつけて、より近い位置にすることができれば、説得力が増したシーンだと感じる。

〈INS 分析〉

概ね判定基準は一貫し、競技規則を的確に適用しながら、また判定を論理的に説明出来たことは評価したい。警告の2枚も妥当と考えます。しかしながら、アドバンテージの適用と理解に若干の課題が残った(55分,70分)。主審の予期したアドバンテージとは何かを考え、ロールバックが出来るメリットを最大限活用したゲームコントロールに努めて下さい。



13:00 試合実践④ 2022 年度第 20 回 北海道サッカーリーグ ブロック決勝大会

クラップス(道東) - 日本通運 FC(札幌) 主審:濱岡 副審1:一瀬 担当 INS:平石 INS

〈自己分析〉

ゲームコントロール、必要なマネージメントができていなかった。

執拗に抗議してくる選手がいたが、この選手に対して、1回目の異議(4分)の時点で注意が必要であった。そして2回目(31分)で警告を出すべきだった。出来ていなかったせいで異議が何度も続いた。(4,31,37,62,85分)

判定に対しての異議をどこまで許すのか、どこから警告を出すのかの線引きが必要である。

また、マネージメントする際に歩きながらや、体を向かい合わせるなど最初の手順が出来ていなかった。

〈INS 分析〉



ゲームコントロールのきっかけは、5分の日通の当該選手によるホールディングのファウルだったと思われます。あそこで時間をかけしっかりと注意をし、コントロールできていれば、その後もコントロールできたのではないかと思います。初めのきっかけが大切です。

15:30 試合振り返り

17:10 諸連絡・解散

